

校内別室におけるデジタル教科書を活用した学習支援について

【江戸川区立中学校の取組】

不登校児童・生徒の状況

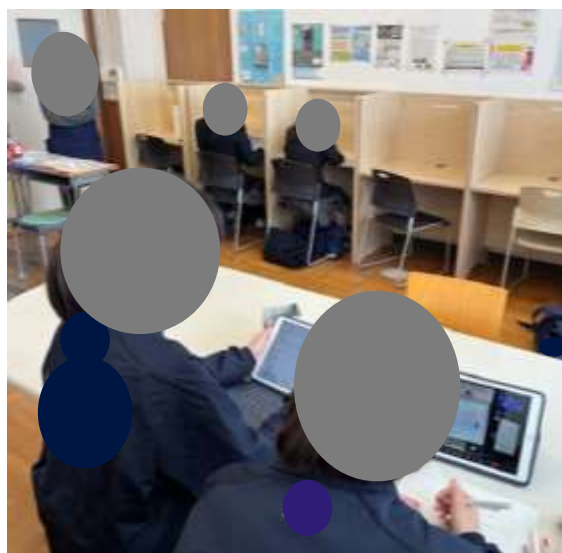
本区は中学校における不登校の出現率が7.7%を超えており、不登校生徒数は1,100名を超えている。区立中学校全校にエンカレッジルームを整備し、不登校生徒が別室登校した際に、居場所や学習場所が確保できるようにしている。別室を利用する生徒は様々だが、コミュニケーションに課題をもっていたり、学習に自信がなかったりする生徒が多く見られる。

具体的な支援

今年度、中学校19校に校内別室指導支援員を配置し、校内別室を利用する生徒に小学校3年から中学校3年までの教材付きデジタル教科書を配布した。校内別室を利用する生徒を中心に73名が活用した。

校内別室において生徒がリモート授業を受ける際に、デジタル教科書に掲載されている動画資料を参照したり、基礎問題等を活用したりすることができた。

また、校内別室にて児童・生徒が自習をする際に、別室指導支援員がサポートをして、一緒にデジタル教科書を開いたり、動画資料を参照したりすることで、デジタル教科書の使用を促すとともに生徒の学びの幅を広げることができた。



成果

教材付きデジタル教科書を活用することによって、まとめ問題や動画視聴ができるようになり、学習意欲の向上につながった。また、教員や別室指導支援員がデモンストレーションを行ったり、サポートしたりすることによって、一人一人の状況に応じた学習支援をすることができた。

課題

デジタル教科書を配布しただけでは活用が進まないため、教員や別室指導支援員による支援が必要である。